



取扱説明書

オイルサービスキャビネット

OP-1 ITEM NO. 881200

OP-2 ITEM NO. 881201

OP-3 ITEM NO. 881202

OP-4 ITEM NO. 881203



⚠ 警告

安全のため、本製品のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

- はじめに

本書は、お使いになる本製品が故障なく十分に皆様のお役に立ちますことを念願として、正しい使用方法とご使用上の注意について説明したものです。この説明書を読む前に本製品の操作を行わないでください。特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。なお、ご使用中に不明な点、不具合などありましたら、お買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

- 使用目的

本製品は別途ポンプを介して、油脂庫に格納された新油のドラム缶と接続することで、オイルコックの操作により新油を必要な量だけジョッキなどへ供給することができます。

- 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただくようによくお読みください。



警告： この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意： この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、及び物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。



この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。



この表示は、必ず従っていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

- 設置・使用上の注意事項

警告

-  - 作業者、保守要員の方は、本製品の操作、または保守を行う前に本書をよく読んで、完全に理解できるまでは作業を行わないでください。
-  - 本製品を設置する際は水平な場所を選び、アンカーボルトを使用し、外れないよう確実に取付けてください。転倒した製品にぶつかり、ケガをする可能性があります。
-  - 本製品を使用する前に日常点検を必ず実施してください。
-  - 異常に気がついた場合はすぐに使用を中止してください。
-  - 本製品を取扱う際は、適切な保護具(フェイスマスク、耳栓、安全靴、軍手など)を着用してください。
-  - 本製品から供給する新油に関しては、メーカーの取扱い注意事項(SDS など)に従ってください。
-  - 本製品を Zone 0 の防爆エリアに設置しないでください。また、本製品を防爆エリアに設置する際は必ず製品にアースを取付けてください。アースをつけずに使用した場合、火災や爆発に繋がる可能性があります。
(防爆エリアに関しては IEC 60079-10 を参照してください。)
-  - 本製品は新油の供給専用です。シンクの表面(塗装処理)を浸す液体、有機溶剤などのパッキンを侵す液体及び、揮発性の高い液体は絶対に使用しないでください。液体の種類によっては火災、爆発や製品の破損に繋がる可能性があります。
-  - オイルコックの最高使用圧力は、5.5 MPa です。最高使用圧力以上のご使用は、おやめください。
-  - オイルコックのフィルターを清掃する為に分解される際は、液体供給元のバルブを閉じ、配管内の圧力を除いてから実施してください。

注意

-  - 本製品を移動する際は、製品を落とさないように注意して移動してください。
-  - 本製品を設置する際は雨水や水のかからない場所に設置してください。製品が濡れた場合、製品の故障や環境汚染に繋がる可能性があります。
-  - 本製品を取扱う際に、部品でケガをする可能性があります。本製品を取扱う際にはケガがないよう十分に注意してください。
-  - 本製品のシンクにこぼれた新油はウエスなどで拭取るか、ドレンから排出して適切に処理をし、シンクに溜めないようにしてください。また、使用前にはシンクにオイルが溜まっていないことを確認してください。
-  - 本製品のアミの上に 15 kg 以上のものを置かないでください。
-  - アミには向きがあります。アミ上面が水平となるよう、正しい向きにアミを取付けてください。

⚠ 注 意



- 取扱う液材は環境汚染に繋がる可能性があるため、地面などに排出しないでください。有害物質などの処分は液体メーカー取扱い事項(SDS など)や適用される法令に従ってください。また、本製品を廃棄する場合も、本製品内に残った液体を除去したうえで、法規に従って処分してください。(公認の産業廃棄物処理業者にお問い合わせください。)



- オイルコックの開閉はゆっくりと行ってください。



- オイルコックを開いた状態でオイルの吐出具合が強いと跳ね返って周囲を汚染させます。オイルが跳ね返らないように別途新油供給用のポンプ吐出圧を確認し、最適な使用圧力でお使いください。



- オイルコックは汚れ易いので、常に清掃を心がけてください。



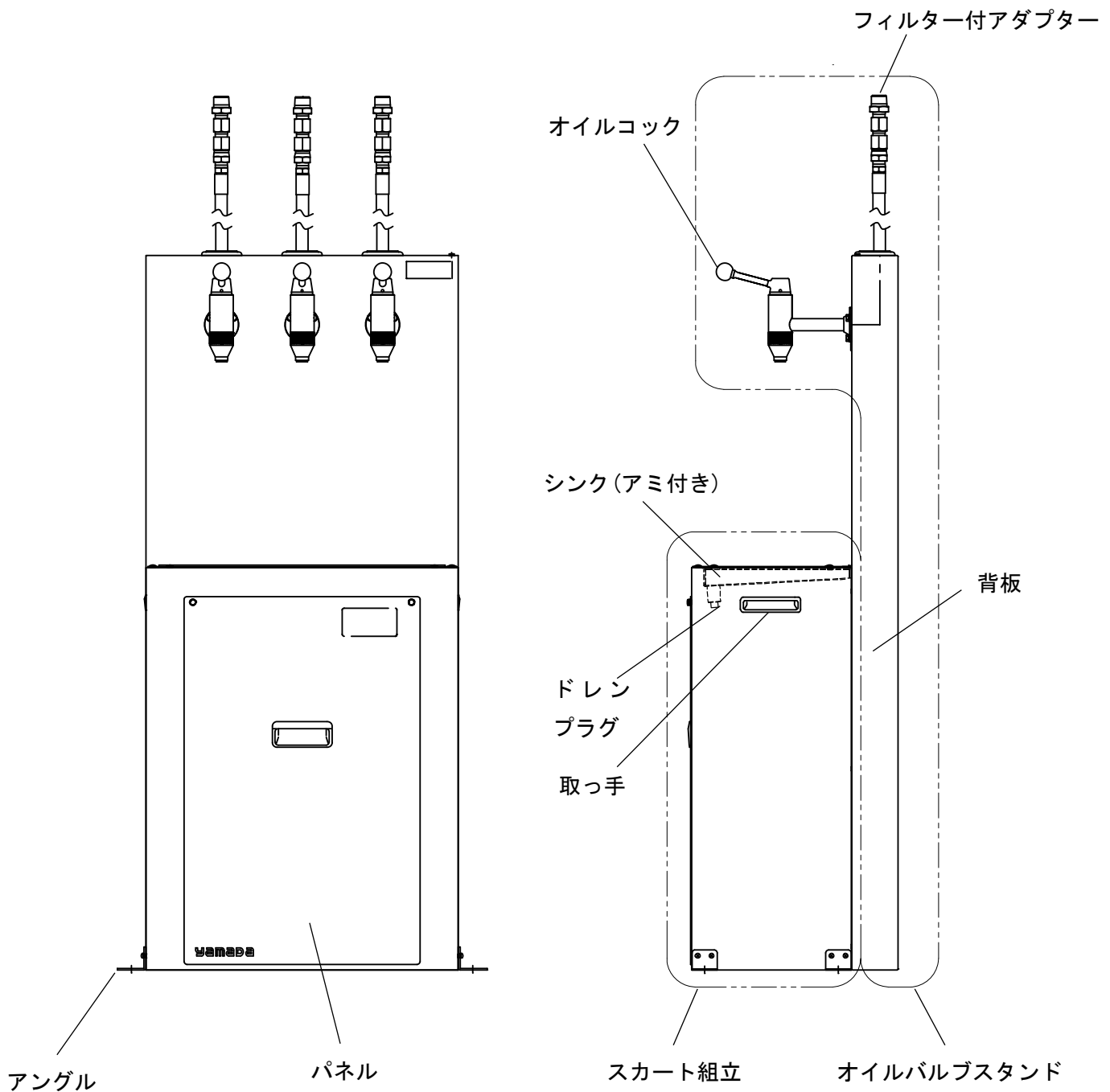
- 作業終了後及び夜間・休日など長時間使用しない場合には、必ず本製品への供給源を止めて配管・ホース内の圧力を抜いてください。供給源を止めず、ホースに圧力がかかったままの状態ではパッキン、ホース類の摩耗により液材が漏れ、施設を汚染させるなどの二次災害に関しては、使用者側の責任となります。

目次

- はじめに	
- 使用目的	
- 警告・注意事項	
- 設置・使用上の注意事項	
- 目次	
1. 各部の名称	
1.1 各部の名称	1
1.2 梱包内容	2
2. 準備	
2.1 パットの取外し	4
2.2 オイルバルブスタンドの取付け	4
2.3 付属品の取付け	6
3. 設置	
3.1 ゴムシート（オプション）の取付け	6
3.2 製品の設置	7
3.3 新油供給配管の接続	7
4. 使用方法	
4.1 新油の供給	8
5. 保守・点検	
5.1 日常点検	9
5.2 定期点検	9
5.3 消耗品	9
5.4 保守	9
5.5 故障の点検とその対策	10
6. 組立図・パーツリスト	
6.1 881200～881203 オイルサービスキャビネット	11
6.2 686827 オイルコック（OV-55）	12
7. 主要諸元	
7.1 仕様	12
7.2 外観図	13
8. 製品保証登録シート	15
9. 保証規定	16

1. 各部の名称

1.1 各部の名称



※図：OP-3（3連仕様）

1.2 梱包内容

オイルサービスキヤビネットは「スカート組立」と「オイルバルブスタンド」の構成となります。

梱包内容も各構成ごとの出荷となります。

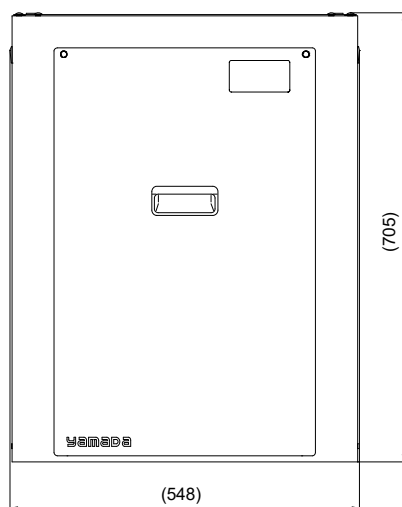
開梱後、直ちに輸送中の損傷がないか及び付属品の欠品がないか確認してください。

また、締結部及び配管接続部の緩みがないか確認してください。緩みがある場合は、増締めを行ってください。

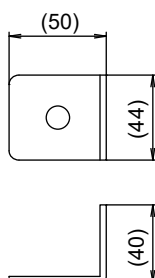
型式	スカート組立	オイルバルブスタンド
OP-1	805242 : 1 式	805243 : 1 式
OP-2		805244 : 1 式
OP-3		805245 : 1 式
OP-4		805246 : 1 式

1) スカート組立

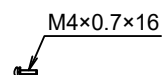
<805242 : スカート組立 1 台>



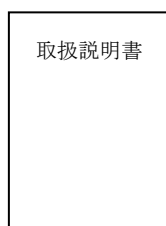
<717203 アングル 4 個>



<684601 バネ座平座付ナベ小ネジ 8 本>



<取扱説明書 1 部(本書)>

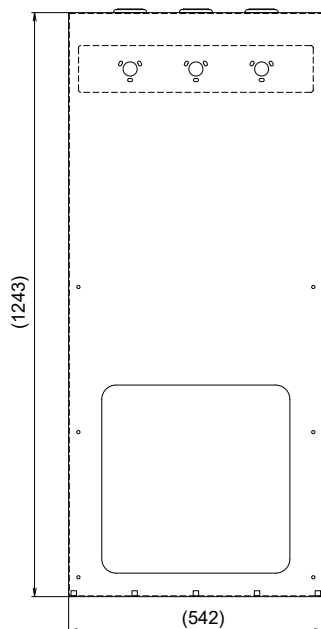


2) オイルバルブスタンド

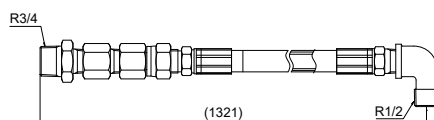
<オイルバルブスタンド : OV-1S~4S>

例) OV-3S の場合

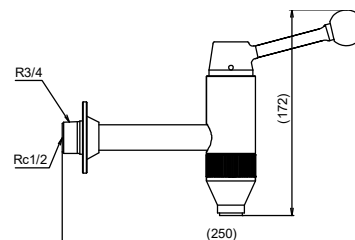
・ 833202 背板組立



・ 805257 ホース組立



・ 686827 オイルコック



(その他)

- ・ 611101 ボルト M6×1×20
- ・ 631012 平座金 M6
- ・ 631418 バネ座金 M6
- ・ 627010 ナット M6×1

オイルバルブスタンドの各仕様における付属品の員数

オイルバルブスタンド		OV-1S	OV-2S	OV-3S	OV-4S
背板組立		1 式 (833200)	1 式 (833201)	1 式 (833202)	1 式 (833203)
805257	ホース組立	1 式	2 式	3 式	4 式
686827	オイルコック	1 個	2 個	3 個	4 個
611101	ボルト	3 本	6 本	9 本	12 本
631012	平座金	6 枚	12 枚	18 枚	24 枚
631418	バネ座金	3 個	6 個	9 個	12 個
627010	ナット	3 個	6 個	9 個	12 個

<オプション品>

- ・ 773475 ゴムシート 1 枚

2. 準備

⚠ 注意

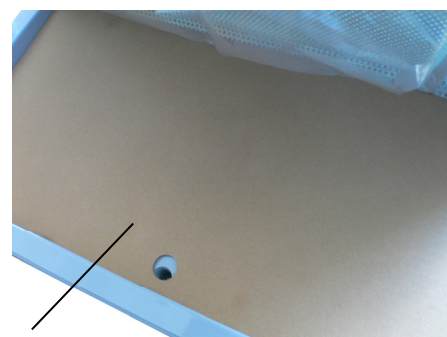


- 配管の接続を行う際には、オネジ部にシール材（またはシールテープ）を塗布し緩まないよう確実に締込んでください。
シール材が配管内に入らないように注意してください。
また、アースの導通を維持するために先端 2 山には塗布しないでください。
（ただし、ホースユニオンに接続する場合は塗布しません。）
配管接続後、各部の漏れがないか、また導通されているかを確認してください。

OP シリーズは「スカート組立」「オイルバルブスタンド」の 2 点から構成される製品です。
これらの組立作業が別途必要となります。「2.1 パットの取外し」の項以降に従って、各部品を接続してください。

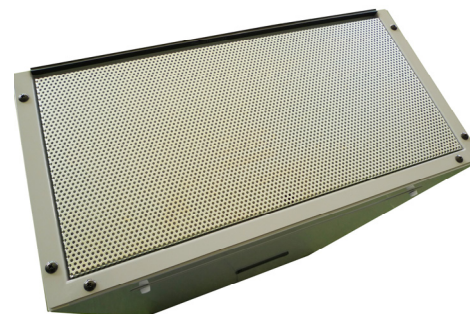
2.1 パットの取外し

- 1) 製品出荷時、アミとシンクの間には、キズ防止用のパット(段ボール)が入っています。アミを一度持上げ、パットを取外してください。



パット

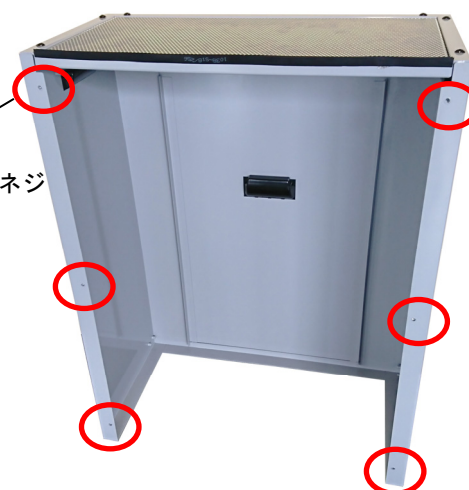
- 2) アミをビニール袋から取出し、再びシンクに取付けてください。
なお、アミは向きがありますので、上面が水平となるような向きにして、取付けてください。



2.2 オイルバルブスタンドの取付け

- 1) スカート組立の背面にあるバネ座平座付ナベ小ネジ(6 本)を取外してください。

バネ座平座付ナベ小ネジ



- 2) スカート組立の背面に背板を合わせ、1)で外したバネ座平座付ナベ小ネジで共締めしてください。スカート組立に背板が固定されます。



- 3) 背板上面にあるグロメットにおいて、ホースを通す為の穴をカッターなどで開けてください。
(開ける穴はホースの金具が通る程度)



- 4) ボルト・平座金・バネ座金・ナット(付属品)を用いて、背板にオイルコック(付属品)を取付けてください。



- 5) オイルコックに、ストリートエルボ(付属品)を接続してください。(推奨は上向きです。)



- 6) グロメットにホース(付属品)を通し、ストリートエルボに接続してください。



- 7) 帯電防止の為、アース線を接続してください。



アース線を接続

2.3 付属品の取付け

- 1) バネ座平座付ナベ小ネジ(2本/箇所/付属品)を用いて本体にアングル(付属品)を固定してください。



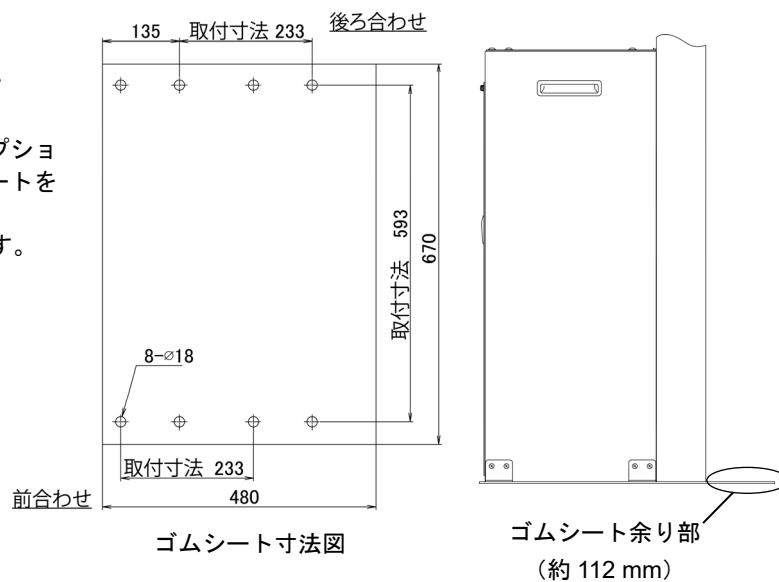
NOTE

締結部及び配管接続部に緩みがないか確認してください。

3. 設置

3.1 ゴムシート（オプション）の取付け

キャビネットの設置面に敷くゴムシート（オプション）をご購入された場合、設置場所にゴムシートを取付けてから製品を設置してください。
なお、製品前方あるいは後方に余りが生じます。
余りが不要であれば切断してください。



3.2 製品の設置

⚠ 警告

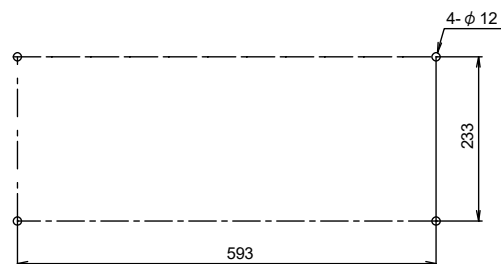
- ❗ - 本製品を設置する際は水平な場所を選び、アンカーボルトを使用し、外れないよう確実に取付けてください。転倒した製品にぶつかり、ケガをする可能性があります。
- 🚫 - 本製品を Zone 0 の防爆エリアに設置しないでください。また、本製品を防爆エリアで使用する場合は必ず製品とポンプの両方にアースを取付けてください。前述の内容が守られない場合、火災や爆発に繋がる可能性があります。
(防爆エリアに関しては IEC 60079-10 を参照してください。)

⚠ 注意

- ❗ - 本製品を移動する際は、製品を落とさないように注意して移動してください。
- 🚫 - 本製品を設置する際は雨水や水のかからない場所に設置してください。製品が濡れた場合、製品の故障や環境汚染に繋がる可能性があります。

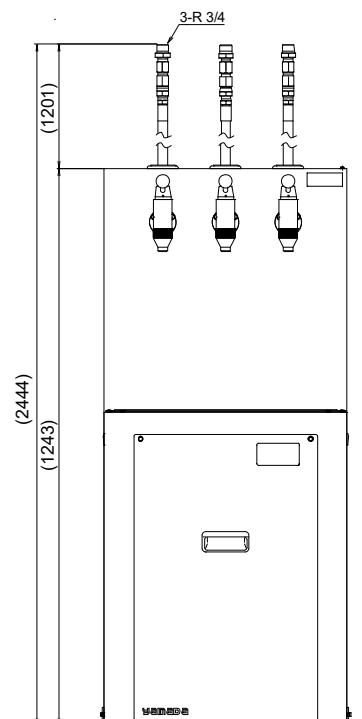
1) 設置場所に OP-301～304 を設置してください。

2) アングルにはアンカーボルト固定用の穴を設けています。
(アンカー取付寸法:右の図参照)
アンカーボルトの施工により、本製品を確実に固定してください。



3.3 新油供給配管の接続

- 1) 背板上部から接続しているホースを新油の供給配管と接続してください。
なお、背板上面から約 1201 mm の位置がホースを一番延ばして届く位置になります。
なお、オイルコックの最高使用圧力は 5.5 MPa となります。
これ以上高い圧力にてオイルを供給すると漏れや破損の原因となりますのでおやめください。



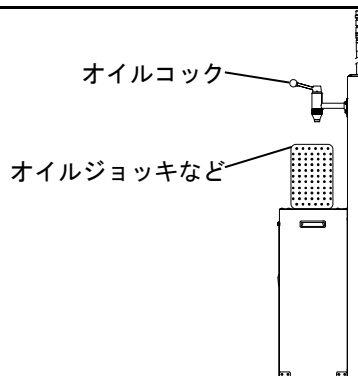
4. 使用方法

⚠ 注意

- ！ - オイルコックを開いた状態でオイルの吐出具合が強いと跳ね返って周囲を汚染させます。オイルが跳ね返らないように別途新油供給用のポンプ吐出圧を確認し、最適な使用圧力でお使いください。
- ！ - オイルコックは汚れ易いので、常に清掃を心がけてください。
- ！ - 作業終了後及び夜間・休日には、必ず本製品への供給源を止めて配管・ホース内の圧力を抜いてください。供給源を止めず、ホースに圧力がかかったままの状態ではパッキン・ホース類の摩耗により材料が漏れ、施設を汚染させるなどの二次災害については使用者の責任になります。

4.1 新油の供給

- 1) オイルコックの下にオイルジョッキなどの受けを置いてください。



- 2) オイルコックのレバーをゆっくりと操作してください。新油が供給されます。

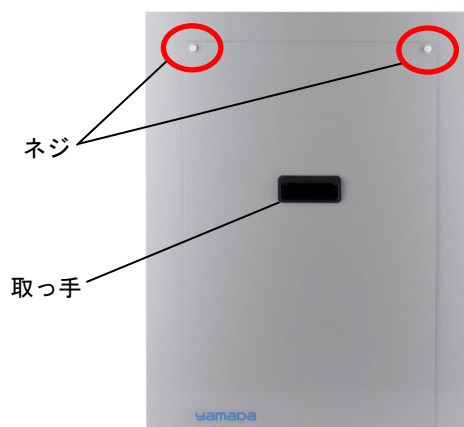
また、連続して流量を得たい場合にはオイルコックを写真のようにロックさせください。オイルコックが解放状態のままとなります。



- 3) 必要量が供給された後、レバーを戻してください。

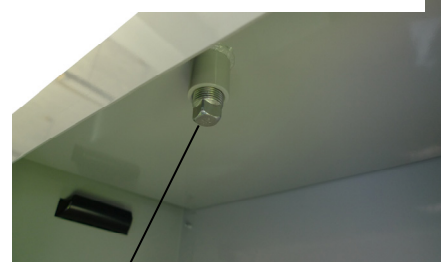
オイルコックがロックした状態

- 4) 本製品のパネルにおいて、2 か所の白いネジを取外し、取っ手を上部に持上げると簡単に取外すことができます。内部は大きく空いている為、オイルジョッキ、ポリタンク、ウエスなどの収納など、ご活用ください。



<NOTE>

こぼれたオイルはシンクに受けられる構造となっています。
定期的にドレンプラグを開いてオイルを抜いてください。
なお、こぼれたオイルを容器へ溜めたいときは、ドレンプラグに配管またはホースなどを接続してください。
※シンクは多量のオイルを溜める構造になっていません。余ったオイルを流したり、オイルコックから直接流したりしないでください。



ドレンプラグ 3/8

5. 保守・点検

5.1 日常点検

オイルコックを操作する前には、毎日必ず下記の事項を点検してください。異常を発見した場合は、原因を究明して、処置を行うまで使用しないでください。

- 1) 各接続部やオイルコックから新油の漏れがないことを確認してください。
- 2) シンク内に新油が溜まっていないか、確認してください。(終了時にも確認してください。)

5.2 定期点検

- 1) 各消耗品について交換時期を過ぎていないことを確認してください。
- 2) オイルコックやホースのフィルターに詰まりがないか確認してください。
- 3) 各部の接続箇所に緩みがないことを確認してください。

5.3 消耗品

部品番号	部品名称	数量	推奨交換時期	備考
695061	耐油ホース	仕様による	1 年	背板上部接続用／OP1～4 付属品
PGR/OT	パッキン	仕様による	1 年	オイルコック(686827 用)
ORG/BS125	O リング	仕様による	1 年	オイルコック(686827 用)

5.4 保守

⚠ 注 意

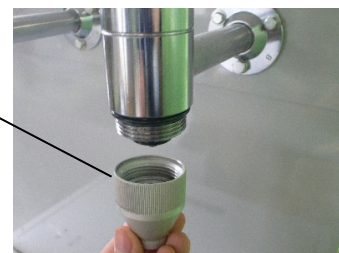


- 本製品の分解・点検・消耗品交換を行う場合は、必ずポンプを止め、オイルコックを開いて配管内の圧力を開放にしてから行ってください。

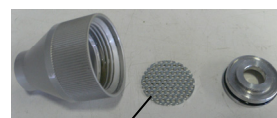
■フィルターの清掃方法<給廃油キャビネットの場合>

- 1) 新油供給元のバルブが閉じられていることを確認してください。
- 2) オイルコックを開け、配管内の圧力を解放してください。
- 3) オイルコック先端のキャップを外してください。
- 4) キャップ側にフィルターがありますので、取外して清掃してください。
- 5) 清掃後、キャップにフィルターをセットし、オイルコック本体へ組付けてください。

キャップ

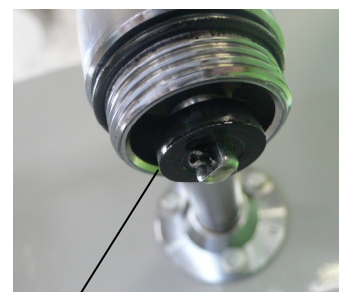


フィルター



■パッキン及びOリングの交換方法 <給廃油キャビネットの場合>

- 1) 新油供給元のバルブが閉じられていることを確認してください。
- 2) オイルコックを開け、配管内の圧力を解放してください。
- 3) オイルコック先端のキャップを外してください。
- 4) 割ピンを外し、パッキンを新品と交換してください。
(「6.2 686827 オイルコック(OV-55)」の図を参照)
- 5) パッキンを交換後、割ピンを差込んでください。
- 6) Oリングの交換が必要な場合は新品と交換してください。
- 7) Oリングをキズつけないようにキャップを組付けてください。
Oリングがキズついてしまった場合、漏れの原因となります。



パッキン

■フィルター（ホース先端部）の清掃方法 <給廃油キャビネットの場合>

- 1) 新油供給元のバルブが閉じられていることを確認してください。
- 2) オイルコックを開け、配管内の圧力を解放してください。
- 3) フィルター付アダプターを取外し、清掃してください。
- 4) 清掃後、ネジ部にシールトープを巻き、再びフィルター付アダプターを取付けてください。



フィルター付アダプター

■アミ及びシンクの清掃方法

- 1) アミを取外す場合、別途精密ドライバーなどをアミのパンチング穴(φ3)に通して引っ掛けたりマグネットの使用などにて取外してください。
- 2) 取外したアミやシンクを清掃してください。
- 3) アミをシンクに再び設置してください。



5.5 故障の点検とその対策

状 況	点 検 方 法	対 策
オイルコックから 新油が供給されない	油脂庫内の新油ドラム缶内に 新油が入っているか →	点検
	キャビネットまでの配管に 詰まりがないか →	点検
	新油供給用ポンプが作動しているか →	点検
	配管部及びオイルコック内のフィルター に詰まりがないか →	点検・清掃
オイルコックから 新油が供給されるが、 流量が少ない	新油供給用ポンプが 満足に作動しているか →	点検
	配管部及びオイルコック内のフィルター に詰まりがないか →	点検・清掃
オイルコックから 新油供給が止まらな い	オイルコックが破損していないか →	点検・修理・交換
	オイルコック内のパッキンが 損傷していないか →	点検・交換

6. 組立図・パーツリスト

6.1 881200～881203 オイルサービスキャビネット

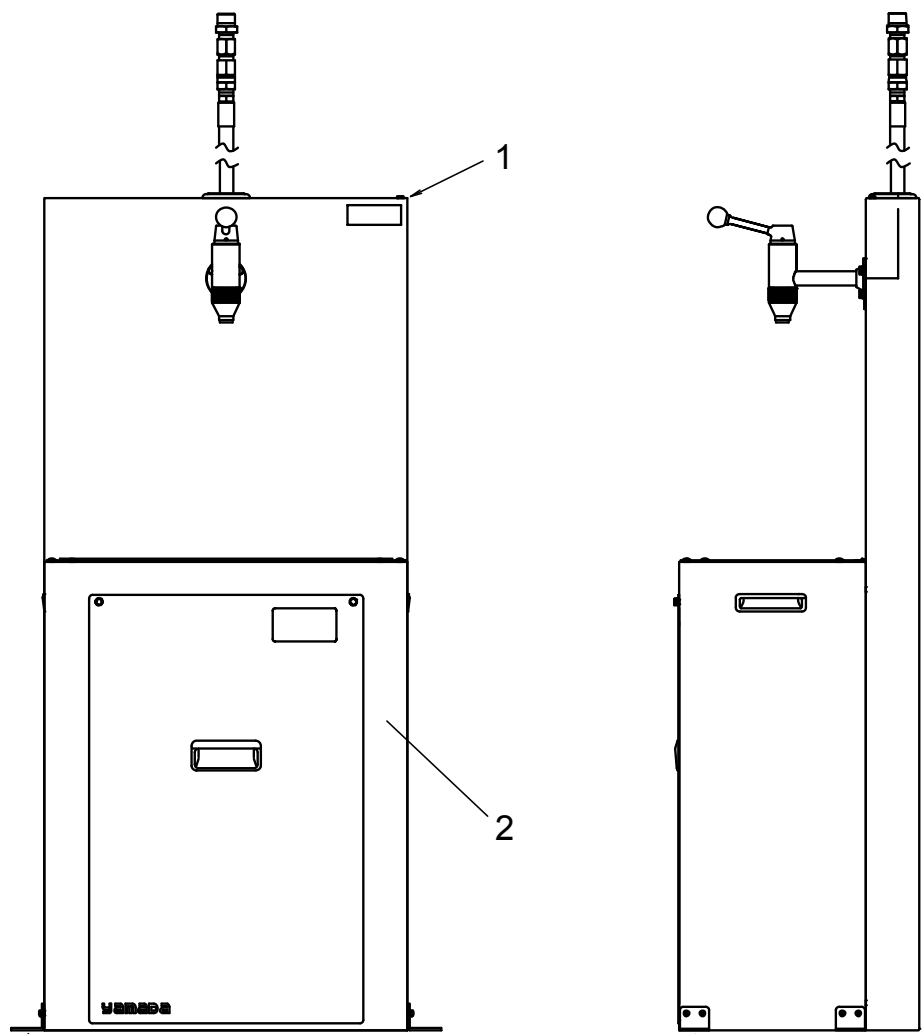
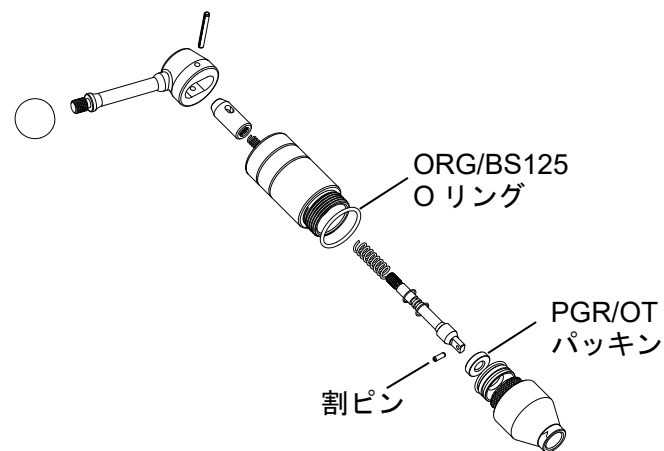


図 : OP-1

No.	部品番号				部品名称	員数
	OP-1	OP-2	OP-3	OP-4		
1	805243	805244	805245	805246	オイルバルブスタンド	1
2	805242	←	←	←	スカート組立	1

6.2 686827 オイルコック(OV-55)



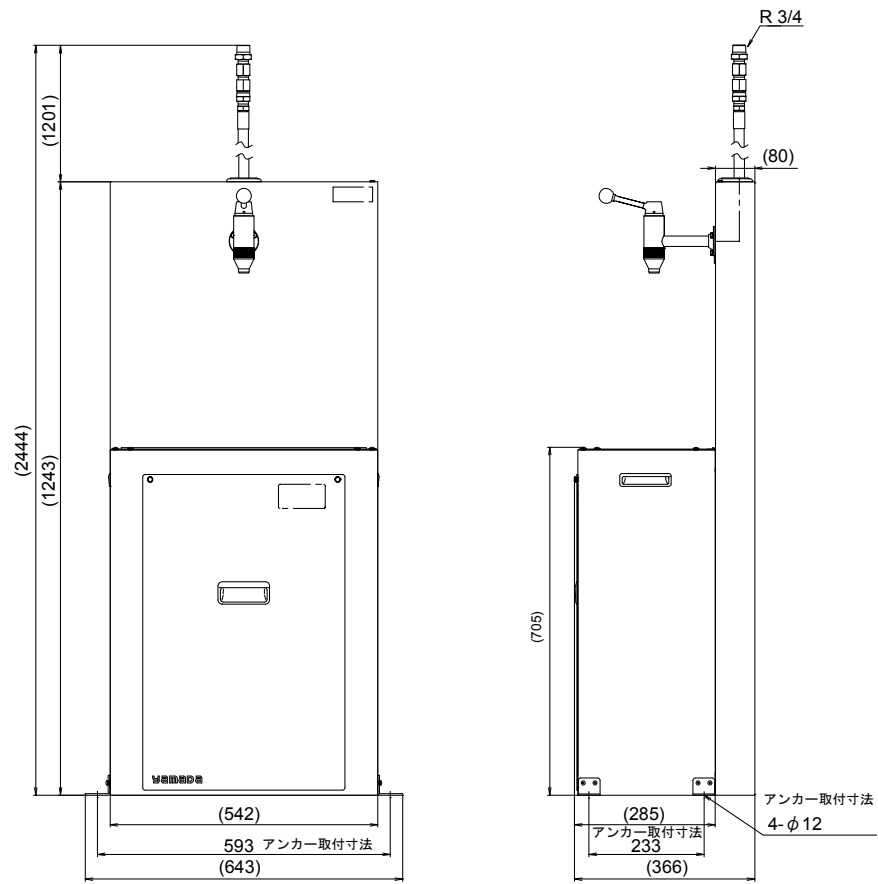
部品番号	部品名称	員数			
		OP-1	OP-2	OP-3	OP-4
686827	オイルコック	1	2	3	4
PGR/OT	パッキン(オイルコック用)	1	2	3	4
ORG/BS125	Oリング(オイルコック用)	1	2	3	4

7. 主要諸元
7.1 仕様

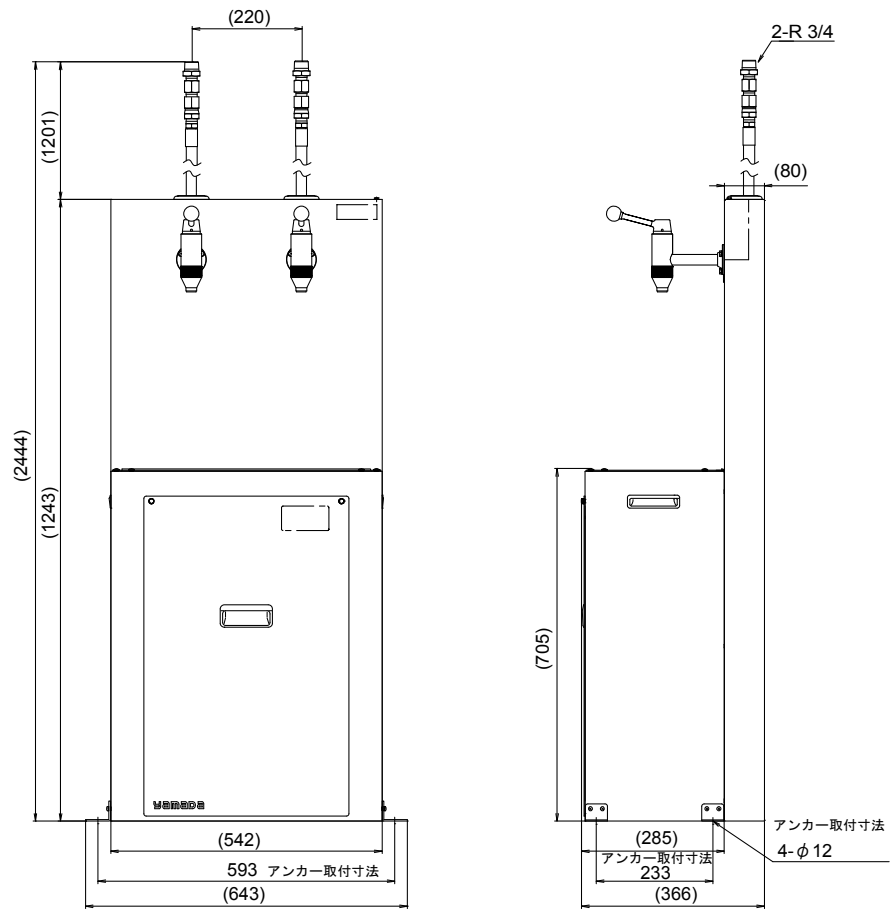
名称	オイルサービスキャビネット			
型式	OP-1	OP-2	OP-3	OP-4
製品番号	881200	881201	881202	881203
オイルコックの数	1	2	3	4
オイルコックの耐圧	5.5MPa			
総質量	約 28kg	約 30kg	約 33kg	約 35kg

7.2 外観図

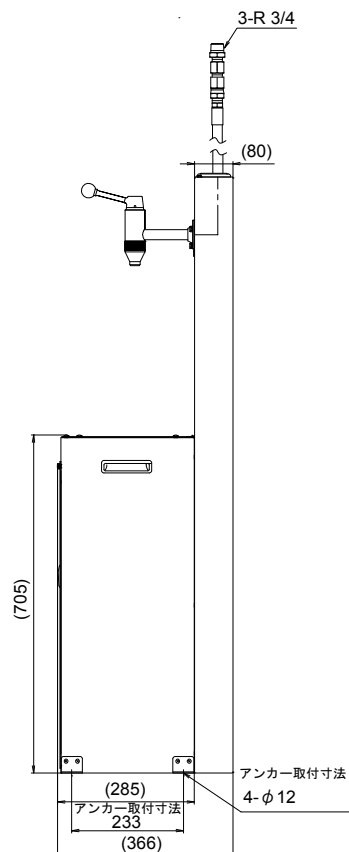
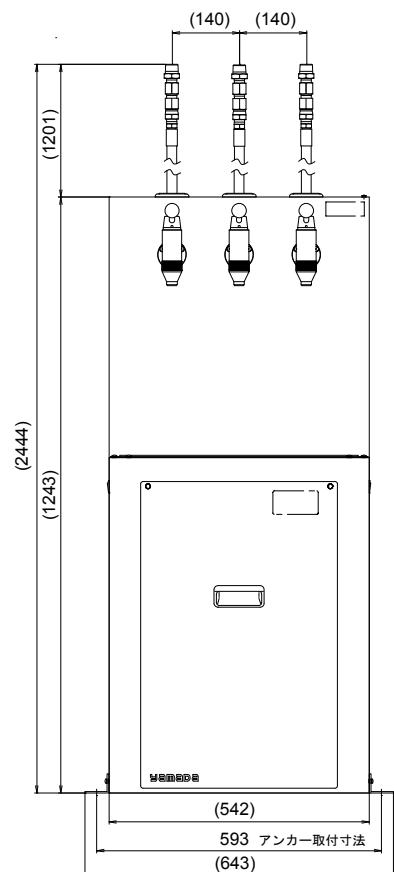
<OP-1>



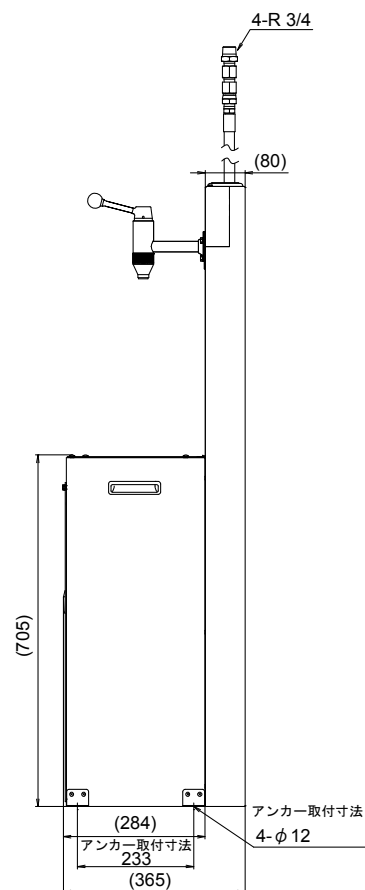
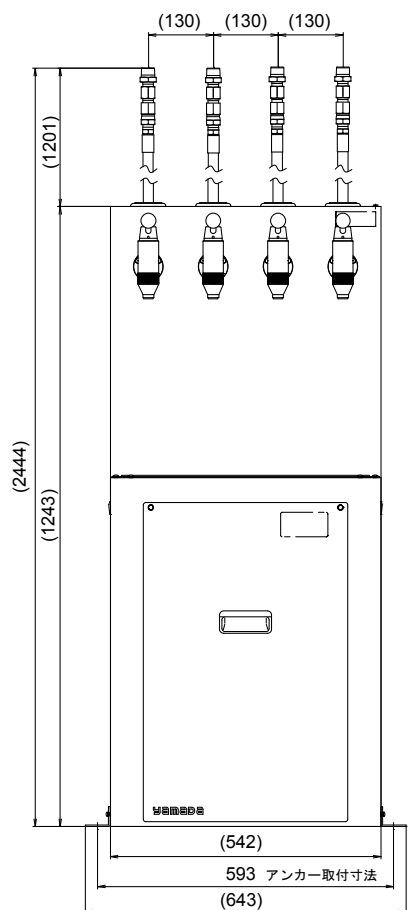
<OP-2>



<OP-3>



<OP-4>



8. 製品保証登録シート

・お手数ですが、弊社 HP <https://www.yamadacorp.co.jp> からご登録または下記のシートをコピーして必要事項をご記入の上、下記弊社宛てにご送信ください。（フリガナ指定の項目は、必ずご記入ください。）

製品保証登録シート			
フリガナ 貴社名 _____		フリガナ ご担当者名 _____	
郵便番号 _____ フリガナ ご住所 _____ _____		ご所属 _____ ご連絡先 T e l . () _____ - _____ F a x . () _____ - _____ Eメールアドレス _____	
■貴社の業種を下記より選んで○で囲んでください。 1. ガソリンスタンド 2. 自動車整備業 3. 自動車部品製造 4. 車両・造船業 5. 製鉄業 6. 機械加工業 7. 機械製造業 8. 電気機械器具製造 9. 半導体製造業 10. 化学・プラント 11. 建築・土木 12. 塗料・インキ製造業 13. 薬品・樹脂 14. 食品製造業 15. 塗装業 16. 鉄道・バス・運輸業 17. 窯業・陶器製造 18. 印刷産業 19. 鋳造業 20. 石油産業 21. 電気部品製造 22. 軽金属・非鉄 23. 織物・家具 24. パルプ 25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）			
ご購入年月日	_____ 年 _____ 月 _____ 日	主なご用途	
ご購入販売店		製品名（型式）	
		製品番号	
		SERIAL No.	

※個人情報は当社の個人情報方針に基づき適切な安全対策のもと管理し、お客様の同意なく第三者へ開示、提供いたしません。

宛先
株式会社 ヤマダコーポレーション
営業本部
TEL.03-3777-4101
FAX.03-3777-3328

9. 保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起きました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1.保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。

2.保証内容：保証期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

3.適用除外：保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

- (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
- (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
- (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解するような新油を使用して生じた故障。
- (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
- (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
- (6) パッキン、Oリング、ホースなどの消耗部品の摩耗。
- (7) 指定外の電源(電圧)で使用された事により発生した故障及び損傷。
- (8) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
- (9) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
- (10) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用したりした場合に発生した故障。
- (11) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適当な油脂を使用した場合の故障。
- (12) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品など、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類 ・各種パッキン類 ・コード類

4.補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。製造打ち切り後5年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

MEMO.

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号
ホームページ <https://www.yamadacorp.co.jp>
E-mail sales@yamadacorp.co.jp



札幌営業所 東京営業所 大阪営業所 福岡営業所
仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 相模原工場

製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055